

M & A における無形資産評価 （エクセルによる計算事例解説を含む）

講師 **枅谷克悦氏** ます や かつ えつ 東京M&Aサービス株式会社 取締役 公認会計士

日時 2025年6月20日（金）午後1時00分～午後5時00分

- このセミナーは会場受講または Zoom 受講のいずれかを選択いただけます。
- 会場ご参加のお客様は、EXCEL が使用できるパソコンをご持参願います。
- 当日のご参加が難しいお客様には、後日動画を配信できます（開催前のお申し込みが必要です）。

企業会計基準や国際会計基準によってM&Aに伴う無形資産の評価と資産計上が要求されています。また、無形資産の評価は「のれん」の計上額にも影響を及ぼします。

上記無形資産の評価によっては買収企業のその後の損益や採算に重要な影響を及ぼす可能性が出てきます。そのため近年では M&A の意思決定段階に於いても、無形資産の予備の評価は M&A にとっては重要な調査手続と考えられています。

今回のセミナーでは無形資産の評価について、主要な評価方法の概要、企業評価との違い、各種無形資産の評価の特徴、評価上の要点について考察し、個々の有形無形資産の評価と買収対象企業全体の評価の関連、各種調整、留意点、また無形資産償却の節税メリットを解説します。

また、無形資産評価と「のれん」の関係について、買収対価の配分手続（PPA）を通して、他の資産との関係を体系的に説明し、無形資産や「のれん」に関連する USGAAP、IFRS の会計処理も含め、計算事例では会計仕訳が理解できるように、解り易く具体的に解説します。

本セミナーでは以下の内容にしたがって講義します。

- ・無形資産の定義、認識規準、分類例示、企業評価との違い
- ・無形資産の評価方法（超過収益法、ロイヤルティ免除法、利益差分法、利益分割法、売買取引比較法、複製又は再調達原価法）
- ・無形資産価値の算定プロセスと計算構造（超過収益法、ロイヤルティ免除法、利益差分法）
- ・各種無形資産評価の留意点（マーケティング関連、顧客関連、技術関連、契約関連、芸術関連、人的資産）
- ・無形資産の評価に有用な事業計画
- ・無形資産評価に於ける割引率と WARA、WACC の調整、キャピタルチャージの計算構造
- ・無形資産評価に於ける留意事項（ロイヤリティ料率、キャピタルチャージ、節税メリット、無形資産の耐用年数）
- ・買収価額の配分手続（PPA）の仕組み、PPA に於ける「のれん」の取扱い

一方エクセルを使って、M&A による取引事例を題材として、①先ず、事業計画が PPA 目的に利用可能かどうか検討します。②次に代表的な無形資産（商標、特許、顧客関係、人的資産）の標準的な評価プロセスに関する評価上の特徴や要点を具体的な計算を通して解説します。③次に、無形資産に係わる収益予測、陳腐化率、キャピタルチャージ、割引率等の評価上の重要項目について計算事例で評価の要点や特徴を解説します。④更に、無形資産評価における割引率、WACC、WARA、キャピタルチャージの全体的な相互関連を具体的な数値で算出します。⑤また、有形資産、負債の D/D 修正や時価修正も反映させた上で最終的に算出される「のれん」の算定プロセス（PPA）を解説し、会計処理、会計仕訳も例示します。

本セミナーでは教材として「PDF ファイル」と「エクセル・ファイル」が提供されます。

受講にあたっては、講義受講用のパソコン（オンライン）の他に、もう一台のパソコン（オフライン）を準備していただき、そこに「PDF ファイル」と「エクセル・ファイル」をインストールして、これを見ながら受講されますという理解が進みます。

講師経歴 1971 年 3 月東北大学経済学部卒業、同年 4 月外務省入省、1972 年 4 月総理府転属、1974 年等松青木監査法人（現、有限責任監査法人トーマツ）入社、以後 1995 年まで監査部門勤務、その間、米国シアトル市、英国ロンドン市のデロイト・トウシュ会計事務所にも各 4 年間出向、多くの M&A 案件にも携わる。1996 年よりコーポレートファイナンス部門（現、デロイト・トーマツ ファイナンシャル・アドバイザリー合同会社）に転属、デューデリジェンス、企業評価、M&A アドバイザリー業務に従事、特に企業評価に関する業務を担当し、2012 年 9 月同法人を退職、企業評価等に関連したコンサルティング業務を開業、2015 年 11 月東京 M&A サービス株式会社を設立、現在に至る。

専門分野 M&A 取引に関連した株式評価、事業評価、TOB、MBO に関連する評価、デリバティブ（優先株式、転換社債、ストックオプション等）、組織再編（合併、株式交換、会社分割）に伴う各種比率算定、無形資産、有形資産の公正価値評価、パーチェスプライスアロケーション（PPA）、訴訟関連の評価。その他 M&A 関連業務として海外、国内の M&A 案件に関するコンサルティング、財務デューデリジェンス、アドバイザリー。

主な著書 「税務コンサルタントポケットブック」中央経済社、「海外進出実務ハンドブック」共著 清文社、「M&A 実践のノウハウ」共著 東京経済情報出版、「M&A の企業価値評価」共著 中央経済社、「企業再編」共著 清文社、「M&A 無形資産評価の実務」共著 清文社、「企業価値評価の実務（新版）」清文社。

録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 **経営調査研究会**
■後援 **金融財務研究会**
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/keichoken>
Twitter : <https://twitter.com/keichoken05>
Blog : <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2025年6月20日(金)
13:00~17:00

会場

茅場町・グリーンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8

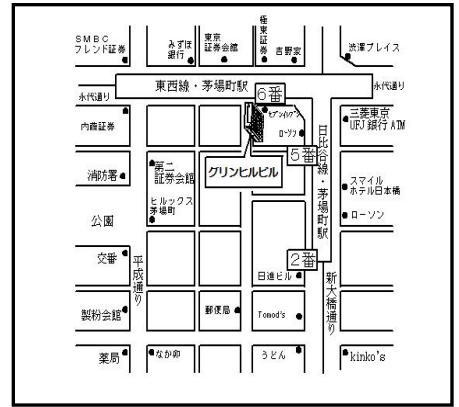
TEL 03-5651-2030

地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅

6番出口より徒歩1分(開場は開演の30分前です。)

【Zoom 受講の場合】インターネットに繋がる

パソコンがあれば、どこでも受講できます。当日のご参加が難しいお客様には、録画した動画を後日配信することが可能です。



参加費

1名につき35,000円(消費税、参考資料を含む)

1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき31,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

経営調査研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル

TEL 03-5651-2033 FAX 03-5695-8005

申込方法

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書を FAX 又は郵送いただいたお申し込みも承ります。折り返し受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。参加費の払戻しは致しませんので、当日ご参加になれない場合は、代理の方のご出席あるいは当社および金融財務研究会主催の他のセミナーへのお振替をお願いします。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内をお願いいたします。)

ご記入いただきました個人情報にはセミナーの開催のために使用させていただきますが、漏洩などがないよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

普通預金 口座名 (株)経営調査研究会

三菱UFJ銀行 八重洲通支店 0602180 三井住友銀行 東京中央支店 3207281

みずほ銀行 京橋支店 1813877 三菱UFJ信託銀行 日本橋支店 1979947

◇クレジットカードは Visa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、Discover がご利用いただけます。

切らずにこのままお送り下さい

FAX 03-5695-8005

M & Aにおける無形資産評価

【会場または Zoom】

6/20

◆参加申込書◆

2025年 月 日

下記に✓を入れてください。 ☐ 会場受講 ☐ Zoom受講 ☐ 後日配信 弊社からのお知らせ、メルマガの送信を ☐ 受信する ☐ 受信しない 講師へのメールアドレス開示に ☐ 同意する ☐ 同意しない クレジットカードをご利用の場合は 下記に✓を入れて下さい。 ☐ クレジットカード利用 セミナーコード 1705 (M&A-k251705)	会社名	TEL FAX		
	所在地	〒		
	参加者ご氏名	部課名		
	〃	〃		
	〃	〃		
	〃	〃		
	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX	

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。